

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 107 号 2007.3.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

無施肥無農薬栽培の大切さ 伝えたい!



渡来忠夫さんは、専業農家ではありませんが、自然農法歴 28 年の大ベテランです。昭和 54 年の 2 月、当時福生にあった弥生会の農園に初めて参加してみると、楽しく、自分でもやってみようと思われたことがきっかけで、無施肥無農薬栽培に取り組まれるようになりました。

その 4 年後、生後 8 ヶ月の娘さんが、食べても飲んで吐く、下痢の繰り返しで、それが一週間ほどつづき、命も危ないのではないか、という状態になってしまいました。そんな時に先輩の助言を頂いて、自然農法のお米で作

った重湯を娘さんに飲ませてみたところ、なんとお腹にすとおさまり、それを機に一日増しに良くなっていったという、奇跡的な出来事を体験されました。この娘さんの命を救われた感謝から、渡来さんは岡田茂吉師の提唱する「自然農法の原理」の大切さを痛感、誰にも負けない実施者になろうと決意をされたとのことです。

現在は、千葉県鎌ヶ谷市の 200 坪の畑で、バラエティーにとんだ野菜、果物を栽培され、自家採種にも取り組まれて、絹サヤなどは 22 年目になるとのことです。そしてそれら経験を生かし、農産展では作物の説明をしてくれる案内係としておなじみの顔となっていますし、多くの方が栽培法のことなどで渡来さんに相談されている姿を目にします。

また 4 年前からは、現在は狭山にある弥生会の畑で、後進の指導にも尽力されています。「今年も若い人に、できるだけ多くの作物を育ててもらいたいし、自家採種にも取り組んでもらいたい」と、また「参加して楽しいと思ってもらうとともに、岡田茂吉師の説く無施肥無農薬栽培法の重要性を考えられる若い人が、一人でも多く増えてほしい」と、普段は気さくな渡来さんが、熱く、力強く語られる姿に心を打たれました。(編集部 針貝)



弥生会の畑で (真ん中が渡来さん)

今年は一味違います! 命の糧作り

新潟県 小国町 飯塚伸子さん



暖冬の中、東京はどうですか。新潟県小国町では、2 月には雪が降らず、3 月に入ってから冬に逆戻り。田畑はすっぱりと雪におおわれ、寒い日が続いています。今年の天候はどうなるのか、関心を持ちながらの稲作になりそうですよ。

実は、平成 16 年の中越地震の震災後に引っ越した借家の大家さんから、「この家を解体したい。そう急ぐこともないがいずれ出て行ってほしい」という話が昨年の暮れにありました。私一人になってもここで自然農法を続けたいと思っておりました矢先のことでした。この土地を離れば今の田畑の継続は断念

しなければならなくなります。何とか通える範囲の所へ引っ越しできないものかと悩んでおりました。そして、今実施している圃場の継続をと、祈る気持ちでおりましたところ、今年になって思ってもみなかった住居物件の話があり、まさにこの時しかないというタイミングでした。3 月末の引っ越しにと今準備しています。住居の心配もなくなり、精一杯自然農法に取り組みさせていただきます。

昨年は 2 枚ある田 (1 反 2 畝と 1 反 7 畝) のうち、1 枚は自分で管理し、もう 1 枚は協力者

の管理の下、無施肥無農薬栽培を続けてきました。その協力者が今年はとてもやれないという事になりました。私も体力的には 2 枚は無理。1 枚だけは何が何でも思っておりましたが、いろいろのことが好展開となり、2 枚おこなおうと決意しました。私の場合、主人の生前より尽力下さっていた方々の力がなくては、一人ではできません。育苗、田植え、稲刈り、乾燥と全ての行程を主人亡き後も、ご指導いただいております。いろいろの方の手をお借りしてやっと収穫の秋を迎えます。

私の仕事は、管理、除草です。土を尊び、愛し、活かしていくことはもちろんですが、携わって下さっている方々を信頼し、より感謝させていただくことの大切さをあらためて感じているところです。体力の続く限りがんばりたいと思います。命の糧の真の作物作りを。

これからの日程

4 月下旬: 播種 (種物は自家採種育苗)、ハウス内にて箱苗、トラクター耕起

5 月上旬: 代かき

5 月中旬: 田植え (播種後 20 日を目安に稚苗にて行なう)

6 月: 除草

今年も動き出す、各生産サークル

<三六九会> お茶、野菜 埼玉県入間市

3/25 にお茶の木の剪定をします。デコボコにならずきれいにできるよう、慣れた人が中心になってさせていただきます。4 月に草刈をし、5/13 にお茶摘みの予定です。いいお茶をたくさん摘めるように頑張りたいと思います。お茶摘みには皆さんの参加をお待ちしています。畑の方は、ジャガイモを去年までより 10 キロ多く、40 キロ (100 株) 植えました。「お父さんの作った無施肥無農薬栽培のジャガイモを子供たちにプレゼントするために」との愛情をもって今年も畑に行きます。

<五三会> お米 千葉県長生郡

3/11 に種もみの浸水と田起こしをしました。右の写真は、軽いもみを浮かせて取り除くために、かき回しているところです。慣行農法では農薬が入っているので、決して手を入れられないそうです。今年はバケツの中に酸素を供給する装置を付け、発芽を促進することにしました。午後からは、耕運機の入らない部分を皆で耕しました。雨上がりで全身ドロドロになりながら耕し終わると、寒そうだった田んぼが、今にも動き出しそうなほど躍動感にあふれていました。



今後は 4/14 種まき、5/4 稚苗を機械植え、5/27 成苗を手植の予定です。一部機械も使いますが、手植え・手除草・手刈りを主にして、「みんなで田んぼを作っていこう!」という気持ちでさせていただきます。いろいろな人に見に来てもらえるよう、お楽しみ企画も検討中です。田んぼにふれることで、自然農法の必要性や環境問題などを考えるきっかけになればと思います。

<弥生会> 野菜 埼玉県狭山市

今年の目標は「土を愛そう」です。2 月下旬にジャガイモを植えました。3/25 にはナガイモとサトイモの植え付けをします。今年は暖かいのでこちらも例年より少し早めの作業となっています。

今年も TOREK 自然農法指導員の渡来さんの下、多くのメンバーが自然農法に興味を持ち、弥生会農園を通して、自然農法がなぜ必要なのかを考えられるようにしていきたいと思っています。また、年度ごとの比較ができる資料になるような、正確な記録のとり方を心がけたいと思います。



無施肥無農薬栽培作物の販売予定

4 月 3 日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産: 小麦粉、きなこ、豆菓子、きのこめし
- 中島農園: ホウレンソウ、ノビル
- 長柄山自然農園: 卵、ダイコンの漬物
- 針貝成代さん: クッキー
- 宮澤弥生さん: 桜型マドレーヌ、ガレット、プリン、シュークリーム



お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧下さい。 <http://www.torek.jp>